

血液製剤（赤血球製剤）の在庫状況について（2月27日現在）

平成18年2月27日現在の各都道府県別の在庫状況について情報提供いたします。本日の在庫率は167%となっております（先週月曜日は167%）。

例年、2月から3月にかけてインフルエンザや風邪、花粉症等の影響により献血者が減少する傾向にありますので、血液製剤が不足することのないよう在庫状況を注視するとともに、継続的な献血推進活動に取り組んでいくこととしております。

今後とも、関係者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

（注）適正在庫とは、一日の血液使用量の概ね3日分の在庫量をいう。

Main table containing inventory data for various blood centers across Japan, organized by prefecture (e.g., 北海道, 青森, 宮城, etc.) and blood type (A, O, B, AB). Each entry includes columns for '適正在庫数' (Appropriate Inventory), '実在庫数' (Actual Inventory), '差' (Difference), and '保有率' (Retention Rate).

Summary table at the bottom right showing '全国ブロック別' (National Block-wise) and '全国血液製剤別' (National Blood Product-wise) totals. It aggregates data for all prefectures and provides overall figures for each blood type and total inventory.